

大学入試センター試験の会場入り口に、看板を設置する職員。16日、八戸工業大



あすからセンター試験

青森県内 8会場で4417人受験

受験シーズンの幕開けとなる大学入試センター試験は18、19の2日間、全国689会場で実施される。青森県内は、八戸工業大や八戸学院大(以上八戸市)、北里大獣医学部(十和田市)、県立田名部高(むつ市)など8会場で、前年度より108人少ない4417人が受験予定。各会場では本番を間近に控え、準備が着々と進んでいる。

大学入試センターによると、本年度の全国の志願者数は55万7698人で、前年度より1万9132人少ない。初日の18日は地理歴史・公民、国語、外国語を実施。19日は理科と数学を行う。試験の平均点や受験者数などは22日に中間発表

があり、2月6日に最終発表が行われる。

八戸工業大は県南、岩手県北西地方の高校3年生と高校卒業者の計854人(男378人、女476人)の受験会場となる。16日は

職員が会場案内の看板を正門付近などに設置。同大入試課の蛸名昭人課長は「受験生が健康などに留意し、いい結果を残せるようしっかりと準備したい」と話した。(稲村安莉)